



## 企画展「The 花鳥画—日本美術といきものたち—」

10/11（土）～11/24（月・祝）開催



鳥取県立美術館（鳥取県倉吉市、館長 尾崎信一郎）は、2025年10月11日（土）～11月24日（月・祝）の間、「The 花鳥画—日本美術といきものたち—」を開催します。8月11日（月）から、割引料金でお得な前売り券の販売を開始いたしました。

本展覧会では江戸時代を中心とした多彩な花鳥画作品を一堂に展示し、日本美術における動植物を主題とするアートの諸相とその魅力についてご紹介します。江戸期を中心とする県内外の花鳥画作品、およそ120点を展示。また、令和5年度に収集した伊藤若冲円熟期の墨画の傑作《花鳥魚図押絵貼屏風（かちょうぎょずおしえはりびょうぶ）》を、収集後初めて公開します。



伊藤若冲《花鳥魚図押絵貼屏風》江戸中期 八曲一隻

[問合せ]鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当（山本・三浦）

Email | [info@tottori-moa.jp](mailto:info@tottori-moa.jp) TEL | 0858-24-5442 WEB | <https://tottori-moa.jp>



タイモン・スクリーチ氏（国際日本文化研究センター教授）、金子信久氏（府中市美術館学芸員）をお迎えする2つの特別講演会や、自然科学の眼で花鳥画を読み解く、鳥取県立博物館と当館学芸員によるスペシャルトークをお楽しみいただけます。

また、美術館のイベントとしては初の試みである「落語」を開催。展示中の花鳥画に登場する動物たちの演目を、上方落語界で活躍されている桂福枝、地元鳥取県出身の桂小文吾両氏が演じます。

なぜ人は“いきもの”に惹かれるのでしょうか。アートの歴史は、動物や植物の形を象ることに始まります。やがて中国で「花鳥画」という絵画ジャンルが生まれ、日本ではこの言葉が動植物全般を主題とする絵画・工芸作品の総称として使われるようになりました。

とりわけ江戸時代には、文学、思想、博物学や民間信仰など、様々な人々の営みと絡み合い、時に西洋文化の影響を受けながら、まことに多種多様な花鳥画作品が生み出されるに至ります。

それらは、当時の人々がいきものたちとどのようにかわり、向き合っていたかを現代を生きる我々に教えてくれるのです。本展覧会では江戸時代を中心とした多彩な花鳥画作品を一堂に展示し、日本美術における動植物を主題とするアートの諸相とその魅力についてご紹介します。

## 【関連イベント】

特別講演会Ⅰ	講師：タイモン・スクリーチ（国際日本文化研究センター教授）
	日時：10月19日（日）17:30～19:10
	会場：1F ひろま
	料金：無料 定員：150名（事前申込制・先着順）

特別講演会Ⅱ	講師：金子信久（府中市美術館学芸員）
	日時：11月24日（月・祝）14:00～15:30
	会場：1F ホール
	料金：無料 定員：60名（事前申込制・先着順）



---

「自然科学の眼で花鳥画を読み解くとー（仮題）」

講師：一澤圭（鳥取県立博物館主幹学芸員）

鶴智之（鳥取県立博物館学芸員）

山田修平（当館学芸員）

スペシャルトーク

日時：10月26日（日）13:30~15:30

会場：1F ホール、企画展示室

料金：要観覧料

定員：50名（事前申込制）

---

「落語×花鳥画 一日限定！錦秋 TMOA 寄席」

【午前の部】10:30~11:45

「動物園」桂小文吾／「ねずみ」桂福枝／アフタートーク

【午後の部】14:00~15:15

「狸のさいころ」桂福枝／「抜け雀」桂小文吾／アフタートーク

落語イベント

出演：桂福枝、桂小文吾

日時：11月2日（日）【午前】10:30~11:45／【午後】14:00~15:15

会場：1F スタジオ2・3

料金：有料

定員：80名

※詳細は決まり次第、Webでご案内します。

---

美術館学芸員が本展出品作の中からイチオシの作品についてお話しします。

【前期】①10月11日（土）②11月1日（土）

【後期】①11月15日（土）②11月22日（土）

ギャラリートーク

時間：各14:00~15:00

会場：3F 企画展示室

料金：企画展観覧料が必要です。



## 【展覧会概要】

展覧会名	The 花鳥画 ー日本美術といきものたちー
会期	2025 年 10 月 11 日（土）～11 月 24 日（月・祝）
会場	鳥取県立美術館 3F 企画展示室
開館時間	9:00～17:00（入館は 16：30 まで）
休館日	月曜日（10/13、11/3、11/24 は開館）、10/14（火）、11/4（火）、 11/5（水）* ※11/5（水）*展示替え作業のため花鳥画展は閉室（美術館は開館）
展示替えあり	[前期] 10/11(土)～11/03(月・祝)／[後期] 11/06(木)～11/24(月・祝)
観覧料	一般：1200 円（950 円） 学生：750 円（600 円） 高校生：500 円（400 円） 小中学生：300 円（240 円） *（ ）内は前売料金・20 名以上の団体料金 ※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料 ※企画展のチケットでコレクション展もご覧いただけます。 ※前売券はオンラインチケットのみの販売です。 ※2025 年 10 月 10 日(金)までは前売料金、10 月 11 日(土)から会期中は通常料金です。
主催	The 花鳥画展実行委員会 （鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSK さんいん中央テレビ）
公式サイト	<a href="https://tottori-moa.jp/exhibition/view/exhibition-03-2/">https://tottori-moa.jp/exhibition/view/exhibition-03-2/</a>
展覧会チラシ	<a href="https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/08/thekachoga_web.pdf">https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/08/thekachoga_web.pdf</a>
オンラインチケット	<a href="https://artsticker.app/tickets/84779">https://artsticker.app/tickets/84779</a>

※スムーズにご入場いただけるよう、オンラインチケットを販売中です。

※会期中は美術館窓口でも当日券を販売いたします。

[問合せ]鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当（山本・三浦）

Email | [info@tottori-moa.jp](mailto:info@tottori-moa.jp) TEL | 0858-24-5442 WEB | <https://tottori-moa.jp>





KACHŌGA  
Japanese Art &  
the Natural World

# The 日本美術と生きものたち

日本美術と生きものたち

2025 10/11<sub>土</sub> → 11/24<sub>月祝</sub>

○展示替えあり【前期10/11(土)～11/3(月・祝)／後期:11/6(木)～11/24(月・祝)】

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】月曜日(10/13、11/3、11/24は開館)、10/14(火)、11/4(火)、11/5(水)\*

\*11/5(水)は展示替え作業のため花鳥画展は閉室(美術館は開館)

【観覧料】一般:1200円(950円)、学生:750円(600円)、高校生:500円(400円)、小中学生:300円(240円)

※( )内は前売料金・20名以上の団体料金 ※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

【主催】The 花鳥画展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSKさんいん中央テレビ)



鳥取県立美術館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

<https://tottori-moa.jp/>





長沢芦雪(牛図) 鉄斎堂



伊藤若冲(花鳥図屏風貼屏風) 鳥取県立美術館

なぜ人は、いきもののくに惹かれるのでしょうか。アートの歴史は、動物や植物の形を模倣することに始まります。やがて中国で「花鳥画」という絵画ジャンルが生まれ、日本ではこの言葉が動植物全般を主題とする絵画・工芸作品の総称として使われるようになりました。とりわけ江戸時代には、文学、思想、博物学や民間信仰など、様々な人々の営みと絡み合い、時に西洋文化の影響を受けながら、まことに多種多様な花鳥画作品が生み出されるに至ります。それらは、当時の人々がいきものたちとどのようにかわり、向き合っていたかを現代を生きる我々に教えてくれるのです。本展覧会では江戸時代を中心とした多彩な花鳥画作品を一堂に展示し、日本美術における動物物を主題とするアートの諸相とその魅力について紹介します。



## 日本美術といきものたち



中村芳中(鹿図) 横水軒記念文化振興財団



谷文晁(駱駝図) 横水軒記念文化振興財団



岡部洞水(魚族図) 長崎歴史文化博物館



春木南溪(虫合戦図) 神戸市立博物館

### 特別講演会

#### 特別講演会Ⅰ

講師: タイモン・スクリーチ氏(国際日本文化研究センター教授)

日時: 10月19日(日) 17:30~19:10

会場: 1F ひろま 定員: 150名(事前申込制)

#### 特別講演会Ⅱ

講師: 金子信久氏(府中市美術館学芸員)

日時: 11月24日(月・祝) 14:00~15:30

会場: 1F ホール 定員: 60名(事前申込制)

#### スペシャルトーク

#### 「自然科学の目で花鳥画を読み解くと」(仮題)

講師: 一澤圭(鳥取県立博物館主幹学芸員)

鶴智之(鳥取県立博物館学芸員)

山田修平(当館学芸員)

日時: 10月26日(日) 13:30~15:30

会場: 1F ホール、企画展示室

料金: 要観覧料 定員: 50名(事前申込制)

### 落語イベント

#### 「落語×花鳥画

#### 一日限定! 錦秋TMOA寄席(仮題)」

【午前の部】10:30~11:45

「動物園」桂小文吾/「ねずみ」桂福枝

アフタートーク

【午後の部】14:00~15:15

「狸のさいころ」桂福枝/「猿けさ」桂小文吾

アフタートーク

出演: 桂福枝、桂小文吾

日時: 11月2日(日)

会場: 1F スタジオ2・3

料金: 有料

定員: 80名

#### ギャラリートーク

美術館学芸員が本展出品の中からイチオシの作品についてお話しします。

【前期】①10月11日(土) ②11月1日(土)

【後期】①11月15日(土) ②11月22日(土)

各 14:00~15:00



■交通アクセス 【鉄道・バスの場合】JR倉吉駅よりバスで約10分、「県立美術館前」下車 【倉吉駅まで】鳥取砂丘コナン空港からバスで約45分 ●米子鬼太郎空港からJR特急で約1時間10分 ●大阪駅からJR特急で約3時間 ●岡山駅からJR特急で約2時間40分 【車の場合】岡山・広島方面: 米子道湯原ICから約50分 ●大阪方面: 中国自動車道淀川ICから約1時間 ※駐車場あり(110台)

### ONLINE TICKET オンラインチケット



8月11日(月)~10月10日(金): 前売り料金

10月11日(土)~会期中: 通常料金

※窓口での当日券販売もごさいます

オンラインチケット(ArtSticker)



鳥取県立美術館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

公式WEBサイト

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄能寺町2-3-12 tel.0858-24-5442

https://tottori-moa.jp/

※イベント最新情報についてはHPをご確認ください